



農業

朝来市 池本 晃市さん (33)

「好きなことを好きなだけ」農業はストレスフリー

澄んだ水と、どこまでも続く緑が美しい、朝来市の「さとう高原」。朝来の特産物である「朝来みどり」の産地で、標高380メートルの高原中腹にお茶の段々畑が広がる。

「農業は時間に追われることなくマイペースにできる仕事。作物と共存しながら、好きなことを好きなだけしているという感じです」と元氣な笑

顔で話してくれる池本さんは、八代茶生産グループに属し、広大な茶畑の一角でお茶の生産に汗を流している。

お茶の栽培を始めて12年が経ち、「この仕事は、やったことが、やっただけ返ってくる。作物の反応が目に見えるところがいい」と、やりがいを話してくれた。また、お茶の栽培を始めた当初に比べて、茶葉の状態が年々良くなってきたとのこと。茶葉は大きければ大きいほど元氣があり、若々しい証拠で、飲み口もまろやかで美味しくなるという。

「最近の茶葉は大きくて生き生きしているの、よく褒められます」とうれしそうに話す池本さんのお茶は、実際に2011年、兵庫県の茶品評会で第3位に輝いている。

池本さんの農業に対するこだわりは、あくまで「好きなこと」。まるでわが子のように成長の過程や、味の評価を語ってくれる。その思い入れは、お茶の木に対してだけではなく、畑そのものに対しても同じだ。

池本さんの畑は、畝がはかったように均等に分けられ、お茶の木も低く均等に刈りそろえられている。「作物とそれを作る作業がどちらにも最適



いけもと・こういち さん
兵庫県伊丹市出身。
高校を卒業した後1年間、
農業大学校で農業研修を受ける。その後、1999年に
朝来市に1ターン就農。八
代茶生産グループに属し、
「朝来みどり」の茶葉栽培か
ら製品化までを行うほか、
特産である「岩津ねぎ」の
生産にも従事している。

な環境づくりが大事」。茶葉を育てる者が、育てやすい環境であることを重要視し、畑の状態には一番に気を配っているという。

このこだわりのもとで栽培された茶畑は、とても美しく活氣があり、一種のアートのように見える。

「新しいことにも興味はあるが、現状のお茶をもっと美味しいものになりたい。手間ひまはかかりますが、好きでやっていることなので苦になりません」と、にこやかに話す池本さん。緑に輝く広大な八代の茶畑には、純粋な農業にかける想いと畑に対する優しさがいっばいに溢れている。

折込(但馬～福知山)+店置き

生活充実フリーペーパー
まものアレコレRecommend (レコ)
Reco.

掲載店
募集中

●クーポン券付、お楽しみプレゼント企画で誘客効果
●Reco.WEB展開中! <http://www.recofree.com>

●お問い合わせは
岩見印刷株式会社
〒669-5321 兵庫県豊岡市日知町土居67-1
0796-42-1200
info@recofree.com



田舎でのどかな生活に憧れる

そんな人にオススメする「豊岡田舎暮らし体験住宅」。この施設は、豊岡市へ定住・移住を考えている人が、実際に施設のある農村へ訪れ、生活してみるといふものだ。

現在、豊岡市内には2軒の体験住宅が用意されている。そこで、田舎暮らしを体験し、周辺地域との交流を通じて、田舎のよさを知ってもらい、そして、少しでも多くの人が但馬に興味を持ち、定住の意識を高めても

らうことが施設の目的だ。

田舎暮らしを希望する人たちは、

やはり「農業園をしたい」「のんびり
過ごしたい」と、興味本位で応募する
人が多い。実際に体験してみると、自
然のよさや、田舎独特ののんびり感

環境の違いに戸惑うこともしばしば。
施設の醍醐味は、この田舎の良さ
も悪さも知ってもらい、田舎生活に適
応できるかの基準としてもらうこと。
居住期間は平均3日〜1週間程度の

利用が多く、体験終了後のアンケートでは、「自然が素晴らしい」や「周囲の人たちとの繋がりに感動した」など、満足の声が多く寄せられている。

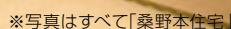
今後は、アンケートの回答をもとに農作業体験などの、より応募者のニーズに応えていけるサービスを検討している。田舎の暮らしに憧れを持つ人には、よいきっかけになるはずなので、まずは応募してみよう。

利用が多く、体験終了後のアンケートでは、「自然が素晴らしい」や「周囲の人たちとの繋がりに感動した」など、満足の声が多く寄せられている。

今後は、アンケートの回答をもとに

農作業体験などの、より応募者のニーズに添えていけるサービスを検討している。田舎の暮らしに憧れを持つ人には、

よいきっかけになるはずなので、まずは応募してみよう。



豊岡市竹野町桑野本にある体験住宅。築歴のある古民家で生活スペースは所々に改装され住みやすくなっている。広い間取りで窓の外は自然がいっぱいだ。田舎暮らしの雰囲気存分に味わえる。



家賃 1日2,000円/組

- *豊岡市への移住・定住を検討されている方
- *豊岡市空き家バンクに登録された方
- *豊岡市外に住所を有する方

*兵庫県豊岡市中央町2-4／兵庫県豊岡市 経済課 過疎対策室
電話は平日の8時30分～17時まで受付
(問) 0796-23-4480 Eメール: keizai@city.toyooka.lg.jp



播州襪が素敵な
きものに
なりました。



「播州織」は、江戸時代中期に比延庄村の宮大工・飛田安兵衛(ひだやすべえ)が京都・西陣から織物の技術を持ち帰ったのが起源と伝えられています。その後農家の副業として、西脇市を中心に北播磨地域で生産された、当初は「播州縞(ばんしゅうしま)」と呼ばれていたが、明治時代後期に「播州織」と称されるようになった。

